

アジア国際法学会日本協会 第6回秋季研究会・国際法研究者実務家勉強会

アジア国際法学会日本協会は、第6回秋季研究会を、研究者・実務家勉強会と合同で開催します。今回のテーマは、「集団的自衛権」論です。現在、いわゆる安保法案をめぐり、現行憲法上、集団的自衛権を行使できるか否かが、国民の大きな関心事になっています。今年の秋季研究会では、この問題を主として国際法の観点からとりあげ、集団的自衛権の概念、行使事例、現実の機能などについて考察します。皆様、ぜひご参加ください。

日時	2015年10月26日（月曜日） 18時30分～20時30分
会場	森・濱田松本法律事務所 東京オフィス16階会議室 (大阪オフィスとテレビ接続)
テーマ	「 集団的自衛権 」論
司会	山口裕司 弁護士 (ユアサハラ法律特許事務所)
報告者	山形英郎 教授 (名古屋大学) 阪田雅裕 弁護士 (アンダーソン・毛利・友常法律事務所、 元内閣法制局長官)
コメンテータ	最上敏樹 教授 (早稲田大学)
傍聴料	500円 (日本協会の個人会員、団体会員にご所属の方は無料です)
参加登録	日本協会ホームページ (http://asiansil-jp.org/) よりお願いいたします

*山形英郎教授略歴

京都大学大学院法学研究科修了後、シドニー大学法学部客員研究員、ケンブリッジ大学ローターパクト国際法センター客員研究員、立命館大学教授などを経て、名古屋大学教授。専門は国際法、国連法。「人間の安全保障と国家の安全保障」「自由権規約のダイナミズム」「国際法から見た集団的自衛権行使容認の問題点」「必要最小限度の限定的な集団的自衛権論」などの論文、著書多数。

*阪田雅裕弁護士略歴

東京大学法学部卒業後、大蔵省入省。税務署長、国税庁課長として税務行政の第一線で活躍。2004年8月から2006年9月まで内閣法制局長官。税法や金融関係の法律をはじめ、多数の法律案、条約の審査のほか、憲法および広範な分野の行政法令の解釈の任に当たる。『法の番人 内閣法制局の矜持』『政府の憲法解釈』『憲法講義』などの著書多数。アンダーソン・毛利・友常法律事務所顧問。

*最上敏樹教授略歴

東京大学大学院法学政治学研究科修了後、国際基督教大学教授、同平和研究所所長、同ロータリー平和センター所長などを経て、早稲田大学教授。日本平和学会会長（1999年～2001年）。専門は国際法、国際機構論。『いま平和とは-人権と人道のための9話-』『国際機構論・第2版』『国連とアメリカ』『人道的介入』『国連システムを超えて』『ユネスコの危機と世界秩序』などの著書多数。

会場のご案内



東京オフィス

東京都千代田区丸の内2丁目6番1号
丸の内パークビルディング（受付16階）

東京メトロ 千代田線 二重橋前駅 徒歩2分
東京メトロ 丸の内線 東京駅 徒歩3分
都営 三田線 日比谷駅 徒歩5分
JR 東京駅 丸の内南口 徒歩5分

大阪オフィス

大阪府大阪市北区大深町4番20号
グランフロント大阪 タワーA 17階

JR 大阪駅 中央北口 徒歩5分
地下鉄御堂筋線 地下鉄梅田駅 徒歩5分
阪神電車 阪神梅田駅 徒歩6分
阪急電鉄 阪急梅田駅 徒歩7分